

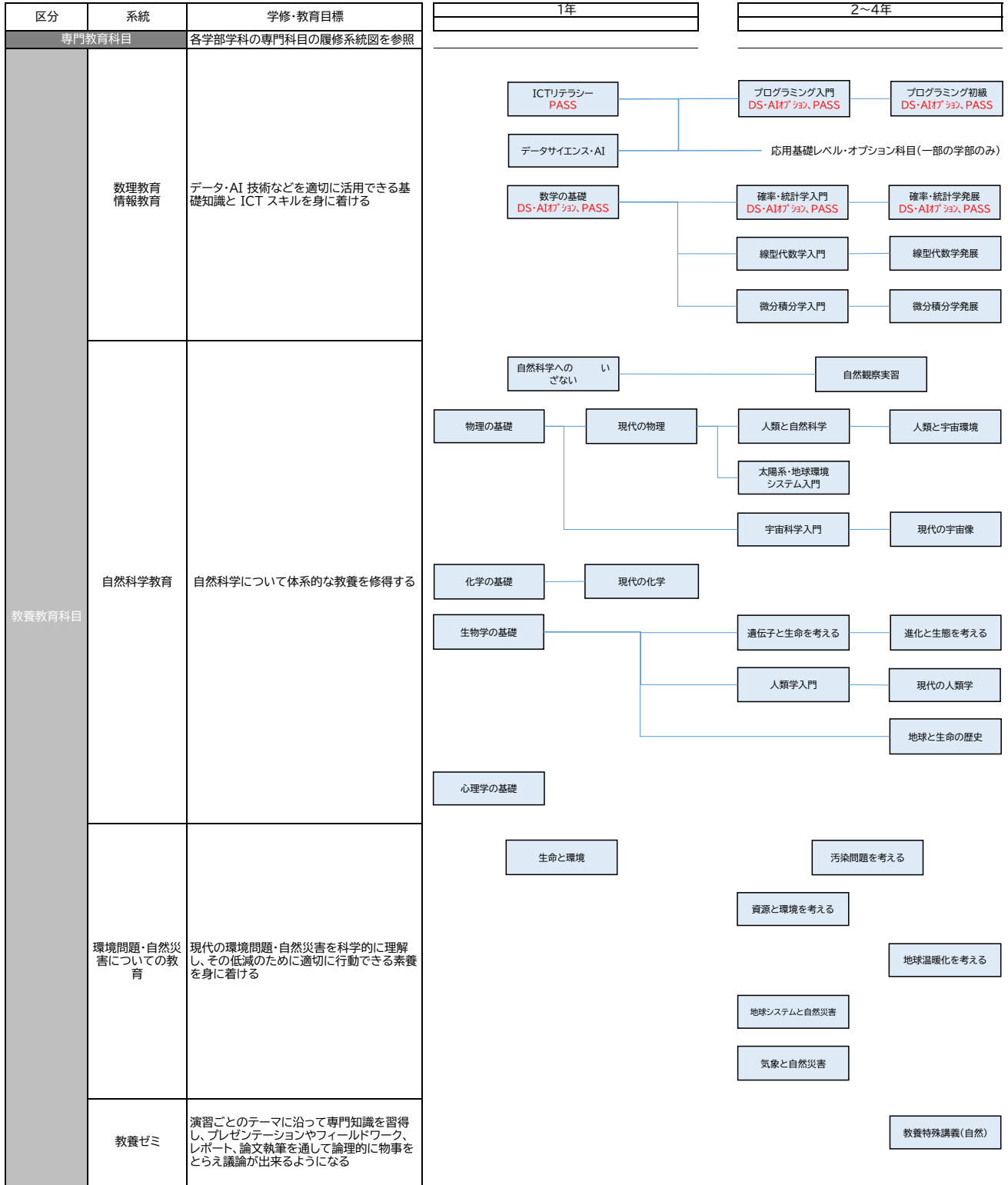


履修系統図(カリキュラムマップ)全学共通科目教養教育科目

区分	系統	学修・教育目標	1年～3年	4年
専門教育科目 教職関連科目		各学部学科の専門科目の履修系統図を参照 教職の履修系統図を参照		
教養教育科目	論理学	演繹推論の妥当性や証明論、帰納推論・仮説形成の方法の蓋然性などについての理解を通して、論理的・批判的思考を養成する。客観的に事実を捉え、意見を組み立て、発信する力を養成する。	論理学(1)* 論理学(2)* 論理学(3)* 論理学(4)*	
	倫理学	西洋・東洋における伝統的な倫理観・倫理原則に対する多面的な理解を持ち、人間、制度、価値、幸福などについて幅広く体系的な教養を身につけるとともに、現代の諸問題を倫理学的な視点から考える批判的思考を養成する。	倫理学(1)* 倫理学(2)* 倫理学(3)* 倫理学(4)* 倫理学(5)* 倫理学(6)* 倫理学(7)* 倫理学(8)*	東洋倫理 応用論理学(1)* 応用論理学(2)*
	哲学	古代ギリシア以来の、人間の「知を愛する」営みとしての「哲学」(フィロソフィア)に対する多面的な理解を持ち、人間、文化、社会、自然について幅広く体系的な教養を身につけるとともに、現代の諸問題を哲学的な視点から考える批判的思考を養成する。	哲学(1)* 哲学(2)* 哲学(3)* 哲学(4)*	現代文明と哲学(1)* 現代文明と哲学(2)*
	芸術学	西洋・東洋における、美をめぐる人間の創造的な営みとしての絵画・彫刻・音楽といった芸術に対する多面的な理解を持ち、人間や文化について幅広く体系的な教養を身につける。	日本美術(1)* 日本美術(2)* 西洋美術(1)* 西洋美術(2)* 音楽(1)* 音楽(2)*	
	宗教教育(1)	この授業は駒澤大学の建学の理念である「仏教の教義並びに普門宗立宗の精神」に基づいて行われるものである。宗教全般についての理解を深め、仏教および神の基本的な歴史や教義について概観するとともに、仏教が広がった地域社会の生活や文化に与えた影響などについても学ぶ。また、これらの視点から、人間が生きてゆくうえで直面するさまざまな問題についても考える。	宗教と人間	
	宗教教育(2)	宗教と社会構造・政治・文化・経済・身体・自然環境との相互の関係を学ぶ。 人文社会科学の多様な分野をつなぐ知識を学ぶ。	社会と宗教(1)* 社会と宗教(2)* 自然と宗教(1)* 自然と宗教(2)*	
	宗教学	人間の営みとしての宗教についての学問である宗教学を学ぶ。宗教学の基本学習として宗教の多様性を学び、またそれらの宗教に見られる共通性や特殊性を理解する。 宗教学の発展的な知識として、現代社会における宗教のあり方を理解する。 人文社会科学の多様な分野をつなぐ知識を学ぶ。	世界の宗教(1)* 世界の宗教(2)* 宗教の見方(1)* 宗教の見方(2)*	現代社会と宗教(1)* 現代社会と宗教(2)*
	文化人類学(1)	人間の思考や生活の様式である文化についての学問である文化人類学を学ぶ。文化人類学の基本学習として、世界の様々な文化とその違いとしての民族の多様性について学び、また多様な文化に見られる共通性や特殊性を理解する。 外国研究における基礎知識や、人文社会科学の多様な分野をつなぐ知識を学ぶ。	民族と文化(1)* 民族と文化(2)* 文化人類学概論(1)* 文化人類学概論(2)*	
文化人類学(2)	文化人類学的なもの見方や、文化の多様性を理解するために、日本やアジアを中心に学ぶ。アジア研究の基礎知識や、人文社会科学の多様な分野をつなぐ知識を学ぶ。	日本の文化と社会(1)* 日本の文化と社会(2)* アジアの文化と社会(1)* アジアの文化と社会(2)*		

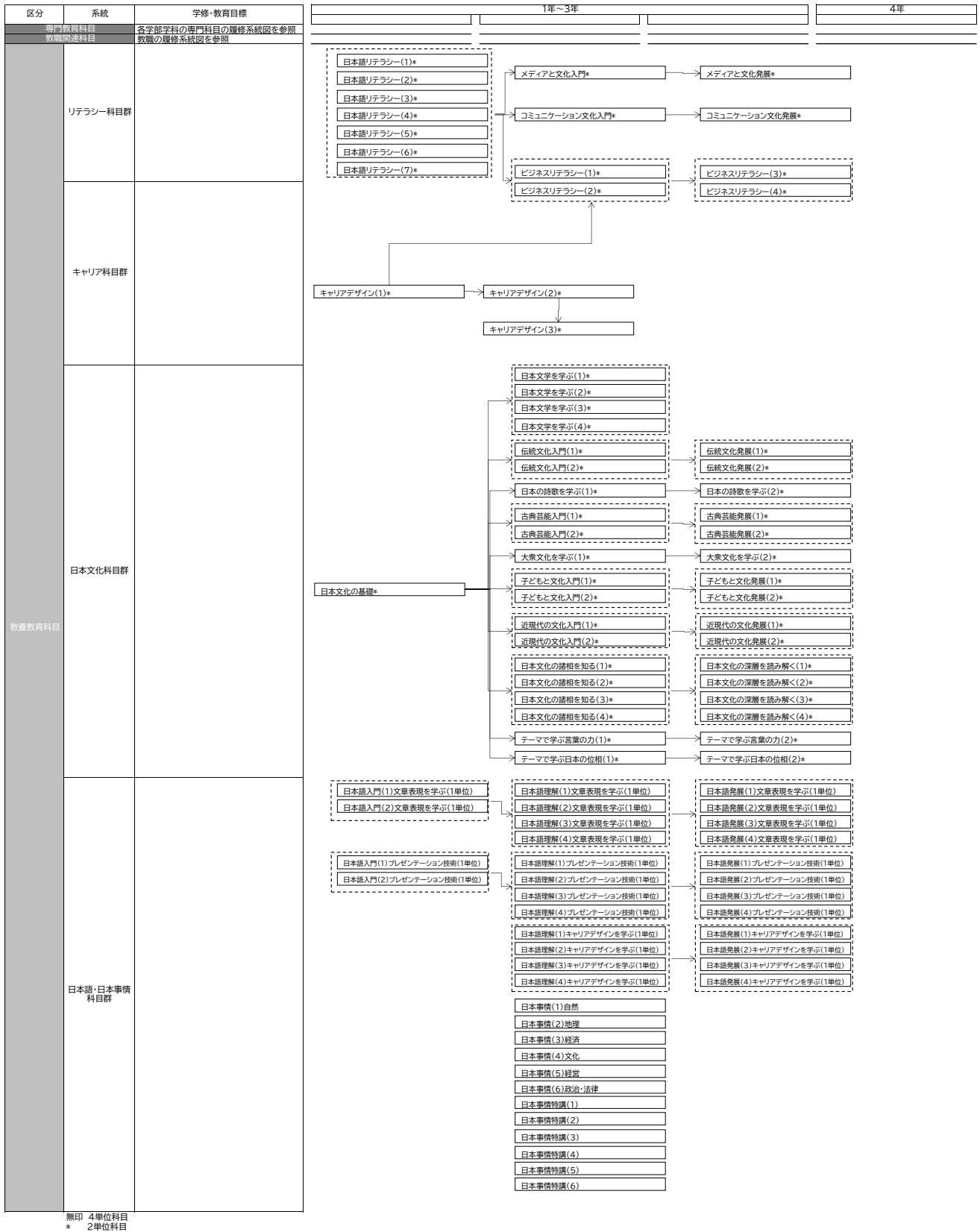
黒印 4単位科目  
\* 2単位科目

履修系統図(カリキュラムマップ)全学共通科目教養教育科目



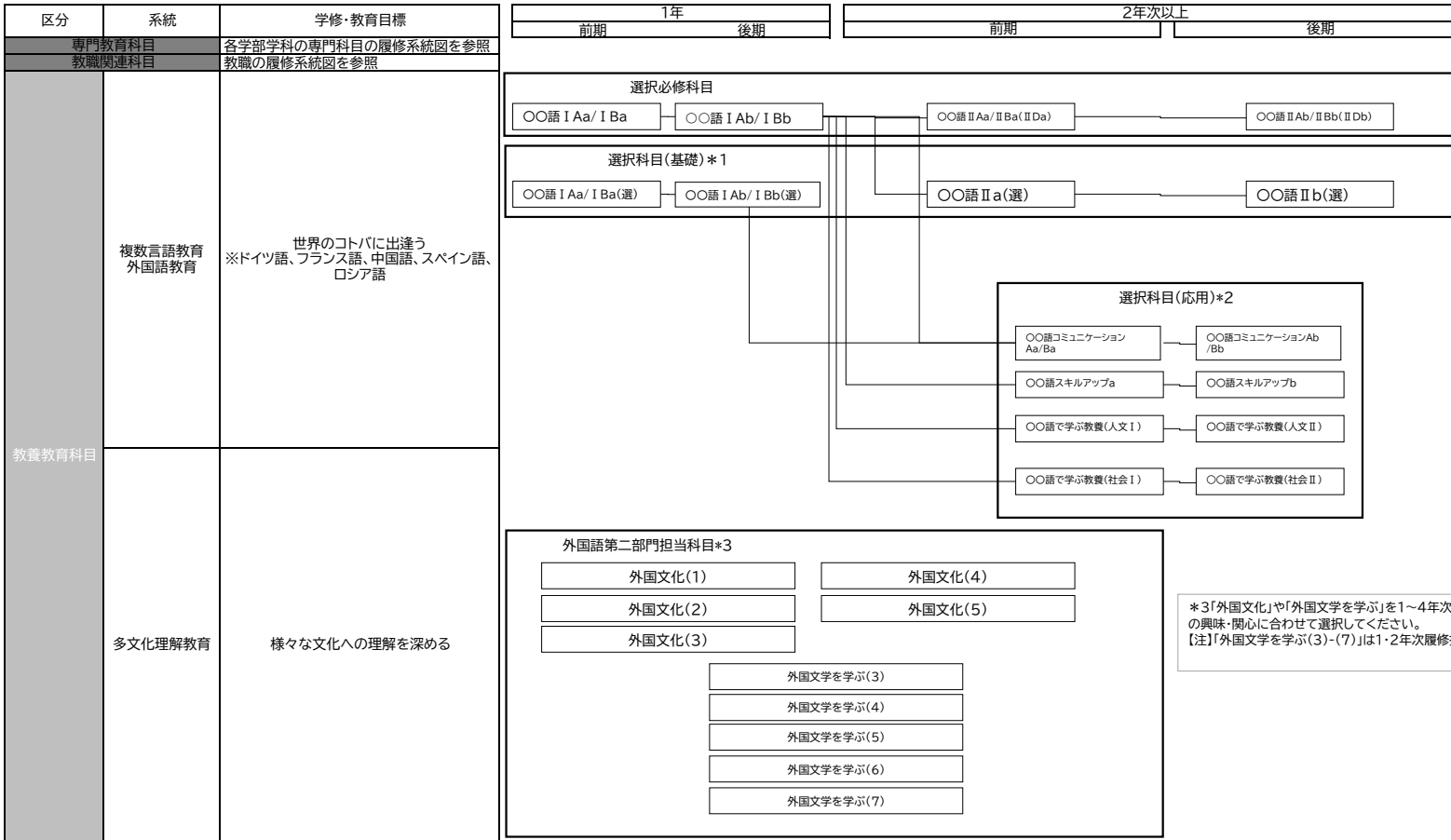
- DS・AIコア : データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベル・コア科目
- DS・AIコア①② : データサイエンス・AI教育プログラム リテラシーレベル・オプション科目(一部、専門教育科目もあります)
- PASS : 駒澤教養パスポート(2024年度より開始予定) 指定科目

履修系統図(カリキュラムマップ)全学共通科目教養教育科目



無印 4単位科目  
\* 2単位科目

履修系統図(カリキュラムマップ)全学共通科目外国語科目(ドイツ語、フランス語、中国語、スペイン語、ロシア語)



\*1ここに示されているのはあくまでも履修の目安です。選択科目(基礎)を1~4年次のいつ履修するかは、各自の興味・関心に合わせて選択してください。

\*2 選択科目(応用)を2~4年次のいつ、どのような組み合わせで履修するかは、各自の興味・関心に合わせて選択してください。【注】「〇〇語で学ぶ教養」は2・3年次履修推奨科目です。

\*3「外国文化」や「外国文学を学ぶ」を1~4年次のいつ履修するかは、各自の興味・関心に合わせて選択してください。【注】「外国文学を学ぶ(3)-(7)」は1・2年次履修推奨科目です。

上記、〇〇には、ドイツ・フランス・中国・スペイン・ロシアの各言語が対応します。

\*4「語学セミナー」は独仏中(夏)西(春)。【注】4年次生は春季セミナーに参加できません。「交換留学」は独・仏・中